

2017年7月24日

Plantic Technologies Limited  
(クラレグループ)

～ バイオマス由来のバリア材&lt;PLANTIC (プランティック)&gt; ～

**<PLANTIC>R が「第 29 回 デュポン パッケージング賞」を受賞**

Plantic Technologies Limited (本社:オーストラリア、社長:岡本健三)は、「第 29 回 デュポン パッケージング賞」(主催:米デュポン社)において、<PLANTIC(プランティック)>R が、その環境適応性、リサイクル性を評価され、「第 29 回 デュポン パッケージング賞」ダイヤモンドアワード・ファイナリスト賞を受賞しました。

**製品概要・受賞理由**

- <PLANTIC>は、特殊なデンブンを主成分としたバイオマス由来のバリアフィルムです。酸素バリア性が高く、主に肉や魚などの生鮮食品の包装材料として使用されています。食品鮮度を保持することで食品ロスの削減につながり、食品産業と環境保全の両面に貢献します。
- 今回ダイヤモンドアワード・ファイナリスト賞を受賞した<PLANTIC>R は、バイオマス由来のバリア層(<PLANTIC>HP)の両側をポリエチレンテレフタレート(PET)でラミネートしたフィルムです。PET 層が水蒸気をバリアし、<PLANTIC>HP 層が酸素などのガスをバリアし、食肉の鮮度を保持します。
- <PLANTIC>R は、リサイクルの際には、バリア層の<PLANTIC>HP の溶解性と生分解性により、通常では分離の難しいPET 層の回収が可能で、オーストラリアでは実際にリサイクルされています。
- また、<PLANTIC>R は、そのリサイクル性に加え、従来の石化燃料プラスチックの約半分のエネルギーでの製造が可能です。
- 今回、上記の環境適応性、リサイクル性が評価され、栄えある「第 29 回 デュポン パッケージング賞」ダイヤモンドアワード・ファイナリスト賞の受賞に至りました。

**デュポン パッケージング賞(DUPONT AWARDS FOR PACKAGING INNOVATION)について**

- 「デュポン パッケージング賞」は、米大手化学メーカーのデュポン社が 1986 年に始めた、包装業界における、デザイン、素材、技術、生産プロセス、サービスなどのイノベーションを評価、表彰する世界的に権威のある賞のひとつです。本年で 29 回目を迎えました。

<ご参考>

Plantic Technologies Limited 会社概要

社名	Plantic Technologies Limited(プランティック テクノロジーズ)
本社所在地	オーストラリア ビクトリア州
代表者	代表者 岡本健三
設立	2001年7月(2015年4月買収)
資本金	131百万豪ドル(クラレ 100%)
主な事業内容	バイオマス由来のバリア素材<PLANTIC>フィルムの製造販売